



青森中央学院大学 地域マネジメント研究所

ACGU Regional Management Research Institute

2023年度研究所スタッフ

- 所長 小松原 聡(戦略マネジメントコントロール)
 - 研究員 内山 清(地域開発、新規事業構築)
 - 研究員 加藤 澄
(Systemic Functional Linguistics、コーパス言語学)
 - 研究員 北原 かな子(日本近代史、比較文化論)
 - 研究員 竹内 紀人(地域観光論)
 - 研究員 中村 陽一(社会デザイン/ソーシャルビジネス)
 - 研究員 廣瀬 孝壽(民法、消費者法)
 - 研究員 ゲン・チ・ギア(経営学)
 - 研究員 菊池 美智子(公衆衛生看護学)
 - 研究員 阿部 光(建築計画、医療施設計画)
- <http://www.aomoricgu.ac.jp/publication/>

研究所事業内容

- ①地域の諸問題やグローバルなテーマについての調査研究と研究成果の公表
- ②他の研究機関等とのネットワーク構築と共同研究の実施
- ③時宜に適ったテーマ選定による公開講座やシンポジウム、セミナーの開催
- ④地域産業、社会を支援するコーディネート活動やアドバイス活動の展開
- ⑤官公庁・団体・企業等からの調査研究、計画策定研修・人材育成等の受託
- ⑥各種分野の講師派遣、幹旋
- ⑦刊行物の発行、ホームページによる情報発信
- ⑧その他「地域マネジメント研究所」の目的を達成するための事業

受託研究・奨学寄附金の受け入れ

青森中央学院大学では、産官学連携の一環として、受託研究、奨学寄附金の受け入れをしています。詳しくは、本学ホームページをご参照いただくか、事務局研究支援・地域連携課までお問い合わせください。

ゲン・チ・ギア 研究員著 『冬のしん世界』出版

ゲン・チ・ギア研究員が執筆している「こころの種に栄養を～雪国物語シリーズ」の第一作『冬はあたたかい』(令和2年度青森県推奨図書)の続編、『冬のしん世界』が出版されました。

本シリーズは、人々の職場や生活における成功や、幸福の要因に関する最先端の研究(教育経済学、ポジティブ心理学等)で検証されている成果を多くの年齢層に分かりやすく発信することを目指しているものです。



著者:ゲン・チ・ギア
 価格: 905円(税別)
 出版年月: 2023年8月
 ISBN: 978-4-9911409-8-3
 出版社: ものの芽舎

青森中央学院大学 地域マネジメント研究所

〒030-0132 青森市大字横内字神田12番地
 青森中央学院大学 2号館4階
 TEL: 017(728)0131(代) FAX: 017(738)8333
 Email: research@aomoricgu.ac.jp

学校法人青森田中学園

青森中央学院大学 経営法学部・看護学部
 青森中央学院大学大学院 地域マネジメント研究科
 青森中央短期大学 食物栄養学科・幼児保育学科
 青森中央経理専門学校
 青森中央文化専門学校



青森中央学院大学 地域マネジメント研究所ニュースレター

ACGU Regional Management Research Institute

青森中央学院大学 地域マネジメント研究所

社会デザイン・ビジネスラボin青森

本学地域マネジメント研究所では、中村陽一研究員が代表理事を務める一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボと協力して、「社会デザイン・ビジネスラボin青森」を開催しています。このイベントでは、社会に貢献したい、社会を良くしたいという想いのある県内外のメンバーが集まり、その専門性に基づいて知恵を出し合い、産官学の知見や技術を融合することで、持続可能な社会を実現するソーシャルビジネスを生み出すことを目指しています。

今回は2022年10月28日に青森県観光物産館アスパムにて、「地域づくりと関係人口」をテーマに現地とオンラインで開催し、県内外の高校生・大学生・社会人に参加していただきました。まず一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボの三尾事務局長からご挨拶や趣旨説明があり、続いてGokase.fun代表 杉田氏から宮崎県五ヶ瀬町での関係人口創出に関する取組事例などをご紹介いただきました。その後、東青地域移住・交流サポート協議会館山氏にご登壇いただき、青森市でワーケーションを実施している背景や、アオモリワーケーションの目指すところなどについて、青森市の地域課題も絡めながらお話いただきました。

プレゼンターの講演後は、現地2チーム/オンライン2チームに分かれて、グループワークを実施しました。講演を聞いた中で気づいた青森の課題を出し合い、各自が関係人口創出のためのアイデアを考え、グループ内で検討しました。最後の全体共有では、地域住民ではなかなか気づかない地域の魅力、地元住民ならではの意見など、さまざまな視点から多くのアイデアが出されました。



目次:

社会デザイン・ビジネスラボ in青森	1
あおもりリズム創発塾	2
ビジネスセミナー開催	2
浅虫温泉森林浴ウォークにおける効果検証	3
研究年報第19号発行	3
2023年度研究所スタッフ	4



あおもりツーリズム創発塾

「あおもりツーリズム創発塾」は、地域や仕事の垣根を越えて、観光や地域づくりに係る方々のモチベーションと実践力を高めることを目的に実施している人材育成講座です。

今年度は、昨年度に引き続き「観光映像」に焦点を当て、「映像を新しい観光に活用することのできる人材の育成」、「魅力的な映像を制作する若手人材の育成」を目的に、公開セミナーと学生によるショート動画制作のワークショップを実施しました(コーディネーター:竹内研究員)。

第1回セミナーは、「観光×SNSの実践とこれから」をテーマに、株式会社ロボット・ディレクター竹石渉氏にご講演いただきました。竹石氏はこれまでミュージックビデオを中心に、CMや様々なジャンルの映像作品を数多く手掛けられており、映像コンテンツを作るうえでプロが意識していること、映像制作のテクニック等についてお話いただきました。

続いて一般社団法人Clan PEONY津軽で観光素材の投稿に従事しているスタッフ渡邊幹人氏と、同法人に伴走してSNS投稿のサポートをしているSNSコンサルタント成田航介氏から、各種SNSツールの紹介やその特徴、各ツールを活用する際のポイント、Clan PEONY津軽で実際にどのような発信をされているかなどご紹介いただき、これからの観光向けSNSについて理解を深めました。

第2回セミナーでは「SNSの使い分けと投稿テクニック」と題して、一般社団法人Clan PEONY津軽の渡邊氏とSNSコンサルタント成田氏に再びご登壇いただき、第1回セミナーのテーマについてより深く学びました。渡邊氏からは、日常業務としての映像投稿の実例や苦労している点などをお話いただき、成田氏からは、その悩み事に対するアドバイス



も含めながら、ユーザーに訴えかけるSNS発信のポイント等について解説していただきました。

学生によるショート動画制作のワークショップでは、黒石市の「ねぶた灯笼」制作体験を学生自身が先行し、それをスマートフォンで収録・編集し、15秒～30秒の縦型ショートムービーに仕上げるといった作業を実施しました。撮影や編集作業では、セミナーにも登壇いただいた渡邊氏と成田氏にご指導いただき、完成した動画8本は一般社団法人Clan PEONY津軽とIRODORI社に提供し、ご活用いただきました。



ビジネスセミナー

「地域活性化のためのDXの考え方とその活用事例ー観光・まちづくりを主テーマとしてー」開催

2022年度地域マネジメント研究所ビジネスセミナーは、講師に公立諏訪東京理科大学客員教授の三代沢正氏をお招きし、「地域活性化のためのDXの考え方とその活用事例ー観光・まちづくりを主テーマとしてー」と題してご講演いただきました。会場には学生や一般の方が集まり、新型コロナウイルス感染症の拡大により国内外の観光需要が大幅に

減少している現状と課題、そのような課題に対するAI・機械学習、AR・VR等を活用した取組事例等についてご紹介いただきました。



青森中央学院大学
2022年度青森中央学院大学地域マネジメント研究所セミナー
地域活性化のための
DXの考え方とその活用事例
ー観光・まちづくりを主テーマとしてー

令和4年
12月6日(火) 13:00~14:30
会場 青森中央学院大学7号館1階712講義室
対象 一般学生 定員 50名 参加料 無料

講師
地域活性化のためのDXの考え方とその活用事例
ー観光・まちづくりを主テーマとしてー

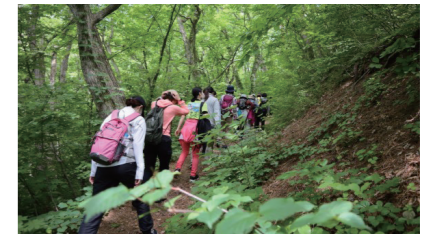
三代沢正 氏
公立諏訪東京理科大学 客員教授
（経済学博士）

主催 青森中央学院大学 地域マネジメント研究所
助成 公益財団法人青森学術文化振興財団助成事業

申込方法
申込先 お問い合わせ
申込フォーム
申込先 017-728-0131
申込先 017-728-0131
申込先 017-728-0131

浅虫温泉森林浴ウォークにおける効果検証

青森中央学院大学では、看護学部教員が2015年から浅虫温泉海山クア(健康)の道・ドイツ式健康ウォーキングの支援を始めたのをきっかけに、2016年には「クアウォーキングを支えようサークル」が結成されました。以降、青森市浅虫地区におけるクアガイドサポーターとして、ウォーキングコースの整備と保全活動、ウォーキング当日の参加者の健康チェック等のサポート、ウォーキングや浅虫温泉地域のPR活動を継続的に実施しています。



2022年度は一般社団法人浅虫温泉観光協会が主体となって実施する「浅虫温泉セラピーエリア事業」の一環として、菊池研究員が中心となり、浅虫温泉森林浴ウォークが心身にもたらす効果検証に協力しました。

「クアウォーキングを支えようサークル」をはじめ、看護学部の教員や学生も調査に協力し、浅虫温泉森林公園を中心に巡る健康づくりを意識したウォーキングを複数回行いました。調査では、運動量、ウォーキング前後での血圧変化、気分の変化などを測定しました。

また、青森中央学院大学周辺地域の一般道(平坦な歩道)のウォーキングも複数回実施し、浅虫コースをウォーキングした場合の測定結果との比較分析も行いました。



年報第19号「グローバルマネジメント地域力再発見のために」発行

グローバルマネジメント
地域力再発見のために

第19号

青森中央学院大学

- 【内容】
- 介護保険料の地域間格差について
ー傾向スコアマッチングによるアプローチ
 - 大学生は外国につながる子どもの学習支援活動にいかに関与するだろうか
 - 新型コロナウイルス感染症拡大下で求められる労働政策
ー個票データ分析結果を用いた予備的考察
 - 大型研究施設のある自治体は何に関与するのだろうか
 - 超高齢社会における地域力の維持・強化に関する実証分析
ー青森県の防災を中心にー
 - 北東北三県の介護老人保健施設の現状と課題について
ー老健の役割と在宅復帰機能
 - ニューツーリズムとしての産業観光の動向
 - 「新常態」における青森圏域連携中枢都市圏形成
 - 地方行政サービス改革推進に関する予備的な検討
ー改革推進の要因分析と青森県の現状
 - 中小企業共通EDIとインボイス制度
ー社会のデジタルシフトに中小企業がIT経営で対応するためにー
 - 日本における高齢社会の現状について
ータイ国サイアム大学との共同研究に関する報告 第1報
 - 日本の高齢者のCOVID-19に関する状況と支援
ータイ国サイアム大学との共同研究に関する報告 第2報
 - 本学看護学部における高齢者を対象とした生涯学習への貢献
ータイ国サイアム大学との共同研究に関する報告 第3報